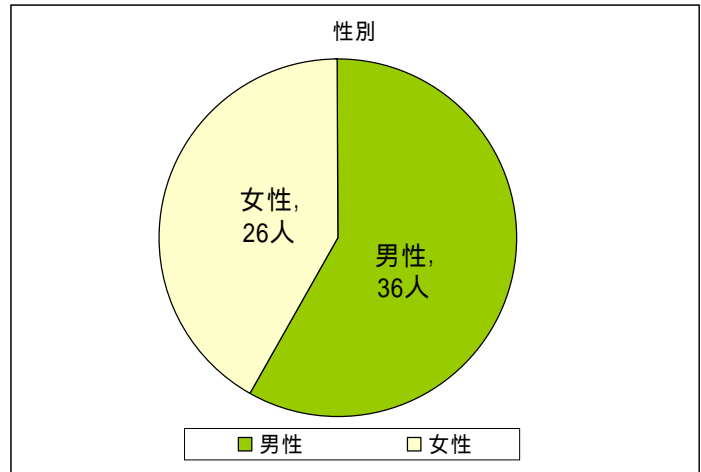


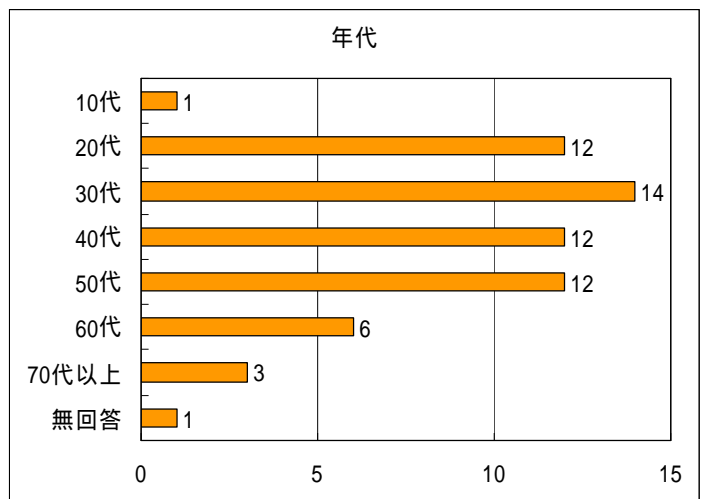
「市民と政府の意見交換会～TPPを考えよう！～」2012年12月17日名古屋・岐阜開催
アンケート集計結果

参加者数:80名 回答数:62名 回収率:77.5%

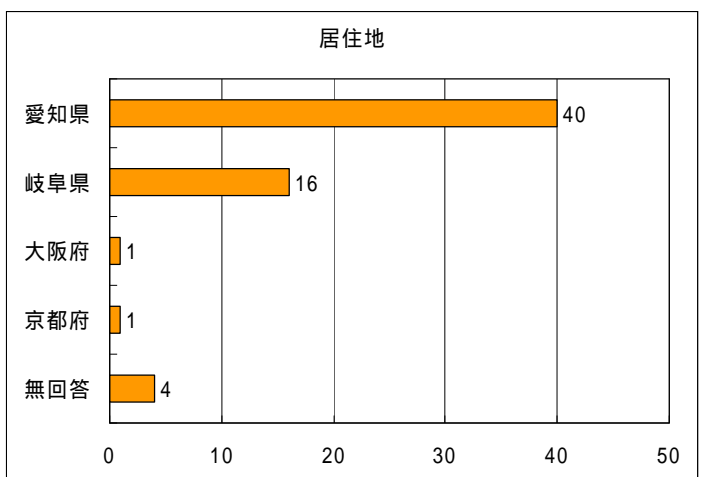
質問	項目	回答数
性別	男性	36
	女性	26



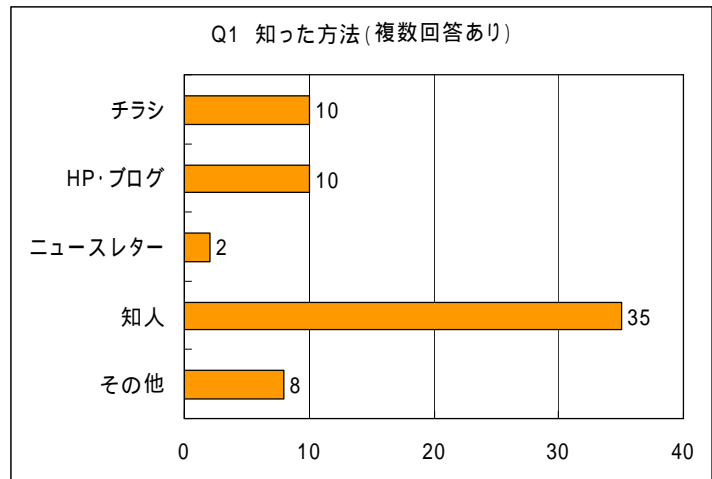
質問	項目	回答数
年代	無回答	1
	70代以上	3
	60代	6
	50代	12
	40代	12
	30代	14
	20代	12
	10代	1



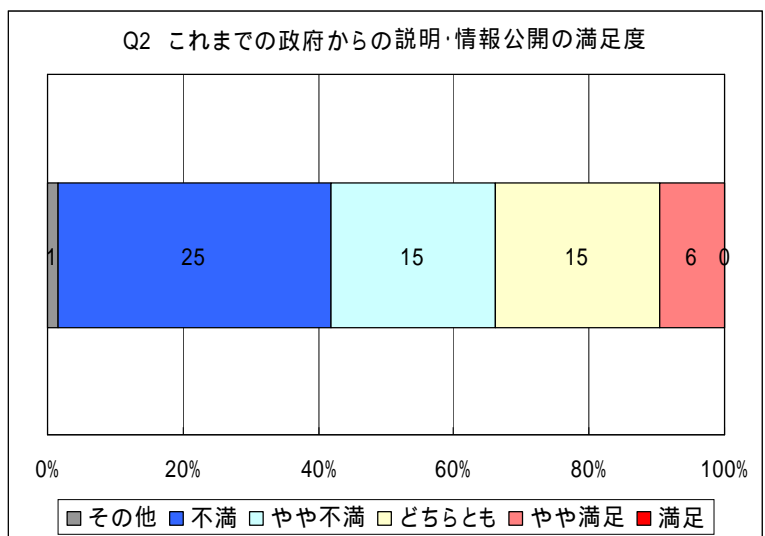
質問	項目	回答数
居住地	無回答	4
	京都府	1
	大阪府	1
	岐阜県	16
	愛知県	40



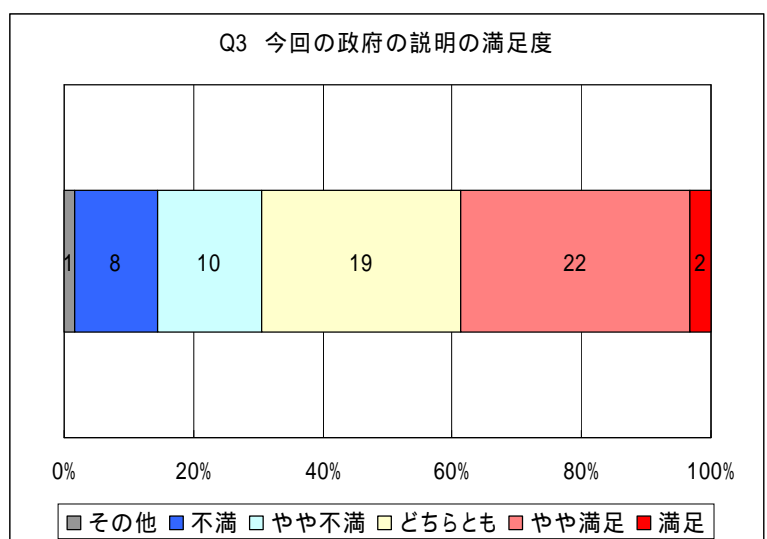
質問	項目	回答数
Q1 今回のイベントをどのようにしてお知りになりましたか？(一部複数回答)	その他	8
	知人	35
	ニュースレター	2
	HP・ブログ	10
	チラシ	10



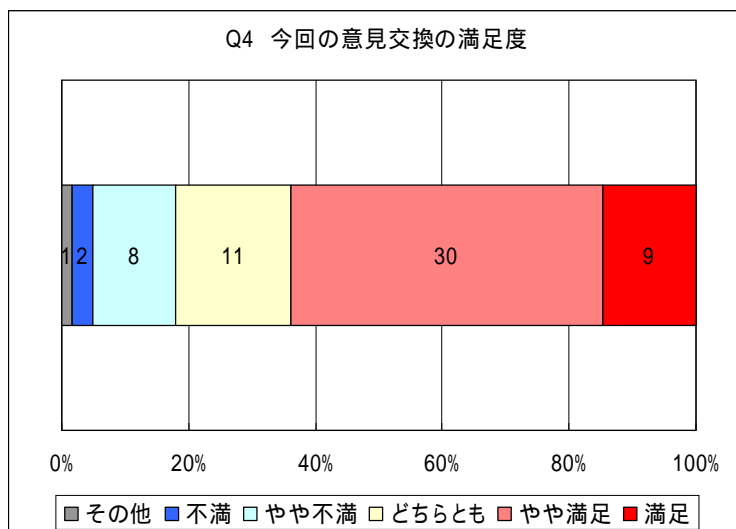
質問	項目	回答数
Q2 これまでのTPPに関する政府の説明・情報公開について	その他	1
	不満	25
	やや不満	15
	どちらとも	15
	やや満足	6
	満足	0



質問	項目	回答数
Q3 今回の政府側の説明について	その他	1
	不満	8
	やや不満	10
	どちらとも	19
	やや満足	22
	満足	2



質問	項目	回答数
Q4 会場・有識者と政府の意見交換について	その他	1
	不満	2
	やや不満	8
	どちらとも	11
	やや満足	30
	満足	9



Q5 本日の意見・感想

<全体に関して>

- ・もっと学びたいと思える機会になった。T P Pの知識を深めたいと思った。
- ・国の大きな決定に市民が参加していけることを望みます。
- ・実際に、政府の方から話を聞いてよかった。
- ・何から手をつけてよいか？わからない。日本人一人一人が、それぞれ他人ごとにせず主体的に取り組むことが必要と思って聞いた。
- ・交渉の仕組みなど、知りえないことが聞いたのは、よかった。

<政府の説明に関して>

- ・政府の人の話はいまいで、ハッキリ答えていないと思った。
- ・どこまで本当か、信じていいのか、という気持ちが大きかった。
- ・声に張りがあり、きちんと自分の考えをもっている印象で好感を持ちました。意外と積極的かつ率直なのに感心した。
- ・貿易交渉のリアリティを率直に語っていただいた話については満足している。
- ・日米安保や米軍の地域協定交渉でさえ、まともにできていないので、「正しく」交渉できるか疑問。
- ・交渉に入ったら抜けられないのか？の質問に対して、論理的には交渉から抜けられると言われたが、「論理的」とはどういう意味か？実際には、アメリカ相手にはNoと言えないのでは？
- ・政府が具体的な策を提示しないのは戦略なのか、それとも策がないのか？
- ・農水省の方の、日本の農業を守りたい気持ちが伝わってきて好感が持てた。
- ・そもそも、T P Pに参加したい理由が、国際社会で地位を守りたい、メンツを保ちたい

というところにあるように、どうしても感じる。

- ・国益ということばは、議論をはぐらかす。
- ・選挙後の不安定な状況の中で、可能な限り誠実に答えていただいたと感じた。
- ・政権が変わったこともあり、具体的性にかけていたのが残念だった。
- ・問題に出された意見が、政策に反映されるか、活かされていくか、確認が必要。
- ・農業をこの先、しっかり守っていくという具体的な策は見えてこなかった。

<テーマに関して>

- ・「農」限定だったので残念。個人的には、「食」と並んで「医療」もTPPで変化するのをおそれている。
- ・農業をしている人の目線の話が多かったので、消費者としては、ピンとこない話もあった。

<貿易に関して>

- ・数値化できない部分(文化・環境など)の難しさを鑑みるとき、改めて貿易の複雑さを知った。

<市民の側として>

- ・政権交代による動きを注視し反応したい。
- ・多くの住民にとって関心があることを政府関係者に理解してもらうとともに、我々住民の側も意識を高めていきたい。
- ・TPPは、国民のためではないと改めて思った。
- ・食の主権については、TPPに組み込まない。
- ・TPPやらなくても、農業自体の維持が不安なのが一番の問題。
- ・TPPが、今後、どのように日本の農業・食に影響するか、まだまだ不安が残る。日本の第一次産業を第一に優先してほしい。
- ・基本的にすべての項目で関税ゼロの多国間の交渉で、コメだけあるいはサトウキビ、乳製品を守るのはムリだと思った。

<会の運営に関して>

- ・時間の関係で仕方がないが、話のスピードが速くて、頭がついていけないところも多かった。
- ・会場の声をその場で質問するのはよかった。
- ・有識者の方のご意見を聞く時間をもう少し多く。有識者の方々と政府との普通の対話形式でのちょーちょーはっしが聞きたかった。
- ・アンケートの質問を代読するやり方は、すっきりしてよかったが、代読の際、質問の意図がストレートに読まれず、代読者の意図によって少し変わってしまったところが、ちょっ

と残念だった。

- ・見せ方・聞かせ方が、もったいないなと感じた。
- ・時期というかタイミングが悪かったと思う。
- ・今後、こういう機会を続けていくことが必要。ぜひ、大学でも。
- ・面白かったです。
- ・もっと市民レベルでのステークホルダー会議、勉強会などを自分たちの手で開催しながら学ぶ必要があると痛感した。
- ・政府・有識者・会場という三者の意見交流はいい企画だと思う。しかし、会場に、農民や農協や農業を目指している若者を含めると、もっと地についての対話になりはしないか？食糧の輸入業者の声も聞きたい。
- ・出来レースの意見交換会といった感じがした。
- ・質問意見は、質問表でなく、発言がいいと思う。
- ・T P P 反対ありきの話ばかり。やっぱり市民の勉強会が必要。

< 今後の取り組みに関して >

- ・T P P が、グローバルな経済優先条約であるならば、「反T P P ネットワークをグローバルに作る」N G O と市民の役割、地域自立の取組みのシェア。
- ・世界の、地域での農業を「お金主義」から護る視点を持ち続けたい。